

保護者の思いにふれる“若葉マーク”

特別支援教育コーディネーターの取組

本校は、全校生徒700人を少し超える中規模の中学校である。地域の小学校からの申し送りの中に、「アスペルガー症候群」「LD」「ADHD」などと記入されている生徒もおり、小学校でもかなり取り組まれている様子が伺える。

本校では、特別な教育的支援を必要とする生徒について、生活面と学習面を支援していくために「特別支援教育推進委員会」を設置し、特別支援教育コーディネーターはその一員として、支援が必要な生徒のとりまとめをしている。

ここでは、特別支援教育コーディネーター初任者が、どのようにして保護者の思いを受け止め、校内全体での対応に繋げていくかといふことについてまとめている。

1 年間計画

(1) 「特別支援教育推進委員会」の取組

① 情報収集、システム作り

- 3～5月 ・小学校等との連携
- ・推進計画の作成
- ・特別支援学級生徒の指導計画作成

② 実態把握

- 5～7月 ・個人シートの作成
- ・個別の教育課題の整理

③ 研修、共通理解

- 7～8月 ・特別支援教育についての研修
- ・個別の支援や指導の共通理解

④ 指導の実際

- 9～11月 ・実践記録
- ・外部との連携

⑤ 評価

- 12月 ・目標達成度の評価
- ・支援や指導の評価

⑥ 指導計画の見直し

- 1～2月 ・支援や指導の成果と課題のまとめ
- ・次年度計画の見直し

(2) 特別支援教育コーディネーターの役割

- ① 特別支援教育の推進計画の作成
- ② 特別な教育的支援を必要とする生徒の把握
- ③ 個別の支援や指導についての助言
- ④ 教職員全体への報告
- ⑤ 特別支援教育推進に関わる校内研修の充実
- ⑥ 外部（専門機関等）との連携
- ⑦ 個人シートの保管

2 特別支援教育コーディネーターとして～保護者への対応～

昨年度からのコーディネーターの仕事はいろいろあったが、保護者への対応が大きな割合を占めていたように思われる。A君の保護者への対応を例に挙げてみたいと思う。

A君はアスペルガー症候群と診断を受けた生徒で、本人もそのことは知っている。学校生活では、周囲の生徒との関わりがうまくいかないことがあり、休憩時間やクラブ活動でトラブルが起こっていた。

<4月>

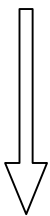
A君の母親

子どものこと、自分の不安を誰に言えば分かってもらえるの？



特別支援教育コーディネーターがいる！

[初めての面談]



子どもの様子を知ってもらいたい。
アスペルガー症候群であると診断されている。
学習面に問題はない。
友達関係がうまくとれない。
子どものことを話す場がない。

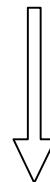


コーディネーターは、アスペルガーの子どもの状態を知っている。
話ができる場があった。

☆ 相談ではない。



とにかく話を聞く



担任に報告
学校での様子の確認

<授業参観後など>

最近の様子や親子の会話
「障害」という言葉から、意識して
離れようとしている。

☆ 本人に対して直接何か
をして欲しいわけではない。



集会や行事で本人の様子を
伺う。

本人の様子、担任からの報告

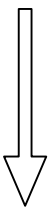
A君は、周りに合わせようと自分自身の
行動をかなりセーブしている。



本人は、かなりのストレスを感じている
のでは？

<10月>

A君に対するいじめが発覚し、学年全体で対応する。



安心

教師や相手の生徒・保護者は、アスペル
ガーの子どもたちの行動理由を分かってく
れないのではないか。
担任が本人から事情を聞く時も同席し
て欲しい。

担任と相談の上、面談や
家庭訪問に同席する。



A君の様子の観察。
A君の思考・行動に対す
る聞き取りと補足説明。

子どもの思考・行動につ
いて分かっている人が側にい
てくれる。何かあったら助
言してくれる。

3 保護者への対応のポイント

A君の保護者だけでなく、何らかの診断を受けた生徒の保護者は、混乱した気持ちを誰に聞いてもらえばいいのか分からない。私の元に話をしに来られる保護者は、必ずと言っていいほど他の人に言っても分かってもらえないという思いを抱えておられる。ある保護者は、「他の子に遅れないように、全てをきちんとさせなければ」という思いから、できないことばかりに目がいき、一人でできるようになったことや几帳面な長所まで、「他の子なら当たり前でできること」としてしまった。

そんな複雑な保護者の気持ちに添って、まず話を聞くこと。そして、生徒の特質を踏まえた上で、その行動の意味を伝えること。自分の気持ちや状態を言葉で表せない生徒の代わりをすること。それが、特別支援教育コーディネーターとしての最初の仕事であった。

特別支援教育コーディネーターの仕事として校内・外部の諸機関との連携や調整も大きいですが、保護者へのサポートは、記録には残らない大事な仕事ではないだろうか。保護者がどんな言い方をされようとも、その後ろにある「保護者の抱える不安」を忘れてはならないと思う。